

報告

第3回障がい者スポーツ応援フェア

帝京平成大学 健康メディカル学部 理学療法学科 泉 美帆子

1. はじめに

2019年10月27日(日)、帝京平成大学池袋キャンパスにて第3回障がい者スポーツ応援フェアを開催した。本学では障がい者スポーツ応援フェアを2015年より2年に1回開催しており、2019年開催の本イベントは第3回目の開催である。

2. イベントの目的

本学の障がい者スポーツ応援フェアは、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、障がい者や障がい者スポーツへの理解を深めることを目的とし、東京2020アクションプランの参画プログラムとして実施している。

3. 企画

イベントの目的から、障がい当事者のご協力をいただき、参加者と障がい者が触れ合える様に企画している。第1回(2015年)は、下肢切断者のご協力をいただき、切断者の方から義足歩行・走行を教わる企画を実施した。第2回(2017年)は、車いすバスケットボールチームにご協力いただき、選手と一緒に車いすバスケットボールを体験する企画を実施した。

本第3回目は、ブラインドサッカーチームにご協力いただき、選手と一緒にブラインドサッカーを体験できるように企画した。また、障がい者スポーツへの理解を深める目的で、ボッチャとフライングディスクの体験も企画した。

2015年から開催している本イベントは、本学理学療法学科の学生が中心となり企画・運営をしている。

4. 当日の様子

本イベント当日は、地域住民、学生、学生保護者など合わせて330名を超える参加があった。

選手や学生によるブラインドサッカーのルールや魅力に関するプレゼンテーション後、選手のデモンストレーションが行われた。その後に、参加者もアイマスクをして選手との1対1での対戦(図1)、ドリブルシュート、パスの体験をした。



図1 選手と参加者の1対1対戦

選手が健常者のサッカー同様にスピーディーなプレーをするのを見て歓声が上がった。また、サッカー経験のある参加者でも、思うようにプレーができず、選手に敬意の念を表す参加者が多くいた。

フライングディスクとボッチャでは、競技の面白さと奥深さに感心する声が多く、何度も体験をする参加者も見られた。

5. 今後について

本学では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを終えても、この取り組みを継続して実施していく予定である。今後も、多くの方々に参加してもらえるよう学生とともに企画・運営をしていきたい。

帝京平成大学 健康メディカル学部
〒170-8445 東京都豊島区東池袋 2-51-4